

認知症 BPSD ケアプログラムの広域普及に向けた検証事業

社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター

(報告書 A4 版 178 頁)

事業目的

科学的な根拠に基づく認知症の行動・心理症状（以下「BPSD」という）の心理社会的なケアの推進に向けて、東京都が開発した、日本版BPSDケアプログラム（以下「ケアプログラム」という）は認知症ケアの現場にICTと客観的な評価指標を活用したPDCAサイクルによるチームケアを定着させるものである。このケアプログラムを全国に普及することとして、その体制準備を実施することが求められる。そこで、まず全国展開に向けて必要となるオンラインシステム及びアドミニストレーター研修で使用するe-Learningシステムの一部改修を行うことを目的とした。

また、e-Learningによるアドミニストレーター研修の他、アドミニストレーターを支援するアドミニストレーターフォローアップ研修（以下「フォローアップ研修」という）、インストラクター研修といった研修の体制整備を図ることも目的とした。

さらには、日本の科学的介護の実現に貢献するため、科学的介護データベースLIFEに収集するデータ項目を検討し、必要な様式の設計についても検討した。

事業概要

事業を遂行するために事業実施委員会を設け、事業の進捗管理等を行った。事業実施委員会の下に、運用体制構築ワーキンググループ及び研修体制ワーキンググループの2つの作業部会を設け、検討作業を展開した。

運用体制構築ワーキンググループでは、東京都がこれまでに開発したシステムを基本として、全国展開上最低限必要となる部分の改修を行った。さらに、マニュアルの修正（用語の修正や図の修正等）を実施した。また、オンラインシステムの改修にあたっては、オンラインシステムで得られるデータを LIFE に登録することを目指して、データを CSV ファイルで出力するシステムを追加装備した。ワーキンググループで検討した内容を基にインフォテック株式会社がシステム改修を実施した。

研修体制構築ワーキンググループでも、これまで先行実施していた東京都の研修体制や研修内容を基本として体制構築の検討を実施した。そして、e-Learning を用いたアドミニストレーター養成研修、さらに、アドミニストレーター養成研修を修了した者を対象としたアドミニストレーターフォローアップ研修及びアドミニストレーターフォローアップ研修の指導者を養成するインストラクター養成研修の3つの研修を立てそれぞれの要件や体制、開催要項案等の作成を行った。

調査研究の過程

1. 運用体制構築ワーキンググループの設置・開催

東京都の日本版 BPSD ケアプログラム開発者やシステム開発者の協力のもと、ワー

キンググループを計4回開催した（令和3年1月6日、1月13日、1月20日、1月27日、いずれも開催はオンライン）。

2. 研修体制構築ワーキンググループの設置・開催

東京都の日本版BPSDケアプログラム開発者や担当者の協力のもと、ワーキンググループを計4回開催した（令和3年1月15日、1月21日、1月28日、2月9日、いずれも開催はオンライン）。

3. 事業実施委員会の設置・開催

東京都の日本版BPSDケアプログラム開発者や担当者、介護施設団体の代表、自治体の代表者等によって構成される事業委員会を設置し、両ワーキンググループの事業進捗管理等を行った。開催回数は計3回であった（令和2年12月21日、令和3年2月18日、3月17日第1回はオンラインと対面式、第2回・第3回の開催はオンライン）。

事業結果

1. 運用体制構築ワーキンググループの主な検討結果

検討結果は以下のとおりであった。

- ・令和3年度においては、東京都が先行して行っているケアプログラムに沿って全国に展開していくことが望ましいため、システム及びマニュアルの修正は必要最小限な場合とした。
- ・アドミニストレーターと利用者の参加同意の必要性、取り方について検討した。アドミニストレーターのオンラインシステムの初回ログイン時に利用規約等の画面が開き、これを確認し同意にチェックを入力して初めてオンラインシステムが利用できる仕組みを設けた。
- ・オンラインシステムで得られるデータをLIFEに登録することを目指して、データをCSVファイルで出力するシステムを追加装備した。

2. 研修体制構築ワーキンググループの主な検討結果

検討結果は以下のとおりであった。

- ・アドミニストレーター養成研修に加え、フォローアップ研修2回の受講で1セットとした。
- ・フォローアップ研修は、共通のレクチャーは参加者全体、その後はブレイクアウトルームを活用して最大7人＋1人のインストラクターで1グループとし、ディスカッションを実施することとした。
- ・インストラクターの役割は、アドミニストレーターの養成だけでなく、地域のアドミニストレーターのサポートやフォローアップ研修の講師、運営、地域の交流会の開催等である。
- ・各研修の要件や体制等を基に開催要項を作成した。

3. 事業実施委員会の主な検討事項（作業の遅れや議論をすべき重大な課題等はなく、全国展開の準備が整った）

検討事項は以下のとおりであった。

- ・アドミニストレーター養成研修とフォローアップ研修をセットにし、一括の手続きとした。
- ・インストラクター養成数を増やすために、研修受講料を無料とするとともに、特定のインストラクターに業務負担がかからないよう配慮を要することが確認された。
- ・インストラクター研修を受講するためにはアドミニストレーター養成研修修了後、5-6ヵ月を要することが確認された。

4. 今後の展望

令和3年度は東京センターが、全国を対象としたBPSDケアプログラムを展開する。

展開は、アドミニストレーターの養成に関連する研修（アドミニストレーター養成研修、アドミニストレーターフォローアップ研修、インストラクター養成研修）及びオンラインシステムの運営管理である。

さらに、独自のモデル事業として、以下のような内容の事業を予定している。

1. BPSD評価尺度の活用実態把握とLIFEに登録するBPSD評価尺度の検討
2. BPSD発症者の少ない施設の要因の検討

事業実施機関

社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター
〒168-0071 東京都杉並区高井戸西1-12-1 電話03-3334-2173（代表）